

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

宇宙について知り、てみよう（くま組、3歳児）

2. 活動スケジュール

5～6月 図鑑や動画を見て宇宙について興味を深める 7月～8月 廃材を使って宇宙ロケットを作り作る
9～10月 自分でイメージを膨らませて自由に絵星を描いてみる 11月 五反田文化センタープラネタリウムに行く

3. 探求活動の内容

5月頃子どもたちから「日本どこにあるの？」と問いがあり、そこから地球→惑星→宇宙と話がながり図鑑や動画を見て宇宙についての知識をたかやましていきました。7月頃～9月頃にかけて段ボールや廃材を用いて世界に1つの宇宙ロケットを作り、保育室で宇宙の旅にできる”テーマ”に遊びを展開していった。宇宙飛行士や星にも興味関心が広がったのでプラネタリウムに行き、てみよう子どもたちと話をし、11月に五反田文化センタープラネタリウムに行きました。その後、自分たちで想像を膨らませて絵星を製作して保育室に飾りてみよう宇宙について楽しんだ。

4. 活動中様子

ロケットを作、てみよう!

「宇宙飛行士さんって何に乗、て宇宙に
いけるだろう？」そこから
みんなが図鑑を見て
調べたこと...「ロケット」
に乗、ていくことが判明!
「くま組にもロケットが
ほしい」ということで...

段ボール、廃材、
模造紙に画用
紙と色紙は材
料を使、てみんな
宇宙まで飛べる
大きいロケットを製作しました。

「こうしてみよう」「こんな模様はどう?」とお友
たちと話しながら楽しく作りすすめていく姿は
いきいきとしていましたよ。



ロケット完成!

毎日いっしょ、数ヶ月をかけた
ついに!世界にたった1つの
宇宙ロケットが完成!!
たくさん乗、て、たくさん
宇宙に行くイメージを
ふくらませて遊びました。
窓からめく笑顔がステキな



プラネタリウムに行、たよ!

お部屋での活動をたかやましたので、実際に星や
惑星も見に行、てみよう!と五反田文化センターに
みんなで行、てきました。ちゅりひりおもしろいお話も
真剣に聞いて「うんうん」
とうなずく姿が、ますます
宇宙の不思議に魅了
された子どもたちでした。



5. 振り返り

子どもたちのふとした疑問から、日常の活動を通して1つのことを深掘りしていく経験が子どもにと、てとて
有意義だったと思う。また、自分たちで調べたり大人に聞いてみたりすることにより探究心が刺激さ
れ、自発的に「もっと知りたい」「〇〇はどうなんだろう」と行動できたのだと思う。保育者もいっしょに
楽しむことで互いに良い活動になった。こころ終わらず引きつづき宇宙について探究していきたい。